

携帯通信機器用低電力メモリ：ダイレクトトンネルメモリの研究開発（富士通株式会社）平成15年度中間評価結果

整理番号	評価	所 見	再評価	再 所 見
13 - 10	A	<p>革新的ではないが、技術水準が高く、かつ半導体ビジネスの取り巻く環境を十分留意した実用化を図ろうとするものであり、優れた研究プロジェクトであると考えられる。社会のニーズとも合致しており、本プロジェクトの円滑な推進とプロジェクト終了後の早期事業化を期待したい。また、それと同時に外部発表等研究成果の公表をしていくことを求める。</p> <p>事業化計画については、スケジュール、体制が十分明確に検討されており、企業内の関連部署との連携が図られているものと評価できる。事業化プロセスも妥当であり、現開発段階で製造行程部門の参画が行われており評価できる。</p> <p>なお、優位性が高い割にはカスタム化に要する手間が大きく、OEM供給等の販売を拡大するなど、より収益を確保できる可能性を検討することが望ましい。</p>		